

令和6年度

事業報告書

自 令和6年4月1日

至 令和7年3月31日

公益財団法人都市緑化機構

令和6年度事業報告

はじめに

近年、都市における緑の重要性はますます高まっている。気候変動への対応や生物多様性の保全といった地球規模の課題に加え、都市に暮らす人々の幸福度（Well-being）の向上といった社会的要請に応えるものとして、都市の緑への期待が拡大している。これに伴い、都市の緑が有する多様な機能を最大限に発揮し、より豊かな都市環境を創出するための取組が一層求められている。

また、国際的にもカーボンニュートラルの実現や生物多様性の保全に関する目標が、産学官民の連携による重要な課題として注目されているところである。

こうした状況の中、国においては都市緑地の質・量両面での確保を推進するため、「都市緑地法等の一部を改正する法律（令和6年法律第40号）」が令和6年5月29日に公布、同年11月8日に施行されるなど、都市緑化に関する分野ではカーボンニュートラル、生物多様性保全、暑熱対策、景観形成、さらにはポスト・コロナ時代における新たなライフスタイルへの対応など、複合的な課題に応える多面的な取組が進められている。

このような背景を踏まえ、当機構は令和6年度も引き続きSDGs（持続可能な開発目標）への貢献に取り組むとともに、法改正に基づく「都市緑化支援機構」の指定に向けた対応を行ったほか、2027年に横浜市で開催される国際園芸博覧会（GREEN×EXPO 2027）に向けた準備をさらに進めるとともに、人と自然が調和する緑豊かな都市づくりの実現を目指し、公益財団法人としての運営基盤の強化を図りながら、各事業の一層の展開・推進を行った。

1 都市緑化推進事業

（1）都市緑化に関する普及啓発

1）全国都市緑化フェア

国民の緑化意識の高揚を図るため、第41回全国都市緑化かわさきフェア「Green For All KAWASAKI 2024」を川崎市との共催により、富士見公園、等々力緑地、生田緑地をコア会場として開幕した。

主 催 川崎市、公益財団法人都市緑化機構

開 催 地 ・コア会場

富士見公園、等々力緑地、生田緑地

・コア会場周辺エリア及びまちなかみどりスポット

市内の公園緑地、河川、駅前広場、道路空間、庁舎、商業施設・商店街など

- 開催期間 ・秋フェア 令和6年10月19日(土)～11月17日(日) (30日間)
・春フェア 令和7年3月22日(土)～4月13日(日) (23日間)

開催期間中には、全国都市緑化フェアにおける都市緑化の普及啓発催事の一環として、緑地の良好な管理運営や都市緑化の推進、緑地の保全に関する各種活動を通じ、緑地の市民開放等による地域社会への貢献等に顕著な功績が認められ全国の範となる企業の取組みを顕彰する第12回みどりの社会貢献賞の表彰式を全国都市緑化祭において実施した。受賞した企業、社会貢献活動は以下のとおり。

- ・株式会社イトーヨーカ堂（共同事業者：株式会社ユニバーサル園芸社）
「GRANDTREE 武蔵小杉」（川崎市中原区）
- ・大和ハウス工業株式会社「Research Gate -TONOMACHI-」（川崎市川崎区）
- ・富士通株式会社「Fujitsu Technology Park（旧：川崎工場）」（川崎市中原区）

また、神奈川県内において、都市緑化に関する共同研究に参加、連携している民間企業等と協力し、富士見公園会場において、十数種類の先進的な壁面緑化技術を具体的に比較できる『垂直花壇 Vertical Gardens(バーティカル ガーデنز)』の展示に協力した。

2) 全国都市緑化祭

第41回全国都市緑化かわさきフェアの中心行事として、佳子内親王殿下の御臨席のもと、令和6年度全国都市緑化祭を開催した。

式典では佳子内親王殿下のおことばを賜り、その後、メイン会場である富士見公園をご視察された他、同公園の芝生広場において記念植樹を行った。

主 催 国土交通省、神奈川県、川崎市、公益財団法人都市緑化機構
式典会場 カルッツかわさきホール
開 催 日 令和6年11月1日(金)
式典概要 開会宣言
主催者挨拶
佳子内親王殿下のおことば
表彰
・庭園出展コンテスト
・みどりの社会貢献賞
小学生による都市緑化宣言
閉会宣言
※式典終了後、会場ご視察、記念植樹

3) 都市緑化キャンペーン及び普及啓発ポスター

市民の都市緑化意識の高揚を目的として、以下のとおり、都市緑化推進運動協

力会の事務局として、都市緑化キャンペーンを開催した。

毎年 10 月の都市緑化月間中に開催している都市緑化キャンペーンは、昨年に引き続き有楽町駅前広場を会場に、賑わいのなかで開催した。

また、一般財団法人日本宝くじ協会の協力により、普及啓発ポスター等を作成し、以下のとおり配布、掲載した。

① 都市緑化キャンペーン

主 催 都市緑化推進運動協力会（企画運営 公益財団法人都市緑化機構）
実 施 日 令和 6 年 10 月 4 日（金）
会 場 有楽町駅前広場（東京都千代田区）
概 要 花鉢等プレゼント（花鉢 500 鉢ほか）
（登壇者）
国土交通審議官 天河 宏文
第 30 代日本さくらの女王 杉浦 美桜里
第 30 代さくらプリンセス 神戸 さくら呼
公益社団法人 2027 年国際園芸博覧会協会 事務総長 河村 正人
都市緑化推進運動協力会 会長 高梨 雅明
全国都市緑化フェア、GREEN×EXPO2027 の PR
海上保安庁音楽隊コンサート
参加者数 約 1,200 名

② 普及啓発ポスター

時 期 「春季における都市緑化推進運動」（4 月 1 日～6 月 30 日）
「都市緑化月間」（10 月 1 日～10 月 31 日）
配布枚数 各 12,000 枚
配 布 先 国、地方公共団体、緑化関係団体、日本商工会議所の会員、
日本民営鉄道協会加盟の私鉄各社等 905 団体及びその関係団体

4) その他

令和 6 年度「都市緑化月間」（10 月 1 日～10 月 31 日）をはじめ、国や緑化関係団体等が行う緑化に関する諸行事に対する後援、協賛を行った。

(2) 都市緑化に関する顕彰・助成

1) 都市の緑 3 表彰

① 緑の都市賞

明日のみどり豊かな都市づくり・まちづくりの推進を目的として、樹木や花などの「みどり」を用いた環境の改善、景観の向上、地域社会の活性化等に先進的かつ意欲的に取り組み、良好な実績と成果を挙げている市民団体、企業、地方公共団体等を顕彰している。

第 44 回「緑の都市賞」は、審査委員会（第一次審査委員会：8 月 26 日（月）、第二次審査委員会：9 月 24 日（火）開催。委員長：樺山 紘一 渋沢栄一記念財団理事長）を経て、以下の 11 件が受賞した。

第 44 回緑の都市賞 受賞者一覧

●内閣総理大臣賞

受賞部門	受賞作品	所在地	受賞者
緑の市民協働部門	命をつなぐ PROJECT	愛知県 知多市 ほか	特定非営利活動法人日本エコロジスト支援協会/命をつなぐ PROJECT 学生実行委員会

●国土交通大臣賞

受賞部門	受賞作品	所在地	受賞者
緑の事業活動部門	再生の杜ビオトープ：都市の生態系回復実証と地域共創	東京都 江東区	清水建設株式会社 技術研究所
緑の事業活動部門	大阪ガス実験集合住宅 NEXT21	大阪府 大阪市	大阪ガス株式会社
緑のまちづくり部門	ばらのまち福山 「ばらの花いっぱい運動」	広島県 福山市	福山市

●都市緑化機構会長賞

受賞部門	受賞作品	所在地	受賞者
緑の市民協働部門	呉羽悠久の森と里山のあわいを繋ぐ持続可能な森づくり	富山県 富山市	NPO 法人きんたろう倶楽部
緑の事業活動部門	デンソー善明製作所生物多様性に配慮した緑地づくり	愛知県 西尾市	株式会社デンソー善明製作所/株式会社オオバ

●第一生命財団賞

受賞部門	受賞作品	所在地	受賞者
緑の市民協働部門	化女沼の桜で未来の子供たちに夢と希望を！	宮城県 大崎市	化女沼 2000 本桜の会

●奨励賞

受賞部門	受賞作品	所在地	受賞者
緑の市民協働部門	しのばずホッププロジェクト	東京都 台東区	しのばずホッププロジェクト/東京大学大学院都市デザイン研究室
緑の市民協働部門	環境デザイン科による地域貢献活動	岐阜県 美濃 加茂市	岐阜県立加茂農林高等学校 環境デザイン科
緑の市民協働部門	蝶ハッピー、みんなハッピー 花壇	奈良県 磯城郡 田原本町	奈良県立磯城野高等学校理 科部 Flowers
緑の事業活動部門	森林保全に繋がる新しいカタチの観葉植物「戻り苗」事業	和歌山県 田辺市	株式会社ソマノベース

② 緑の環境プラン大賞

みどり豊かな都市環境で育まれる人と自然とのふれあいやコミュニティの醸成等を実現することを目的として、優れたプランを国土交通大臣等によって表彰し、そのプランの実現のための助成を行う第35回「緑の環境プラン大賞」を、一般財団法人第一生命財団との共催により実施した。

第35回「緑の環境プラン大賞」は、審査委員会（9月6日（金）開催。委員長：進士 五十八 福井県立大学前学長）を経て、シンボル・ガーデン部門として以下の3団体に対して約3,000万円（1団体あたり約1,000万円）、ポケット・ガーデン部門として以下の10団体に対して約1,500万円（1団体あたり約150万円）の助成を決定した。

第35回緑の環境プラン大賞 受賞者一覧

●シンボル・ガーデン部門

賞	受賞作品	所在地	受賞者
国土交通大臣賞	カラフルな○△□（こせい）が見える『インクルージョンなプレイガーデン』	奈良県 生駒郡 三郷町	社会福祉法人樟椽会
都市緑化機構賞	わち山野草の森へのいざない-地産地消でつくる、みどりのトンネル-	京都府 船井郡 京丹波町	一般財団法人和知ふるさと振興センター
第一生命賞	里に触れるまちのひととき～江坂ひとときプロジェクト～	大阪府 吹田市	株式会社イー・コンザル

●ポケット・ガーデン部門

賞	受賞作品	所在地	受賞者
国土交通大臣賞	和歌山市駅前ストリートガーデン「しえきのにわ」	和歌山県 和歌山市	一般社団法人市駅グリーンプロジェクト
第一生命財団賞	りくカフェガーデンを核とした「未来コミュニティ」の醸成	岩手県 陸前 高田市	特定非営利活動法人りくカフェ
コミュニティ大賞	未来へのかけ橋 - 生命かがやく学校林 -	宮城県 石巻市	たぶのきネットワーク石巻
コミュニティ大賞	まもろう！それいゆの自然！育てよう！麻生のわ	神奈川県 川崎市	社会福祉法人三篠会 それいゆ保育園
コミュニティ大賞	外国人と作るベジガーデン	福井県 坂井市	坂井市国際交流協会
コミュニティ大賞	縁が輪（縁側）になる庭	岐阜県 可児市	岐阜県立 国際園芸アカデミー

賞	受賞作品	所在地	受賞者
コミュニティ大賞	開け、緑の玄関！	大阪府 堺市	社会福祉法人 光陽会認定こども園 光陽会しんひのおだい
コミュニティ大賞	アトリパークでESD～みんなが笑顔のコミュニティ～	大阪府 大阪市	大阪市立瓜破西小学校
コミュニティ大賞	自然と共存・緑で地域がつながる「ころりん広場」	福岡県 糸島市	特定非営利活動法人 西日本環境ネットワーク
コミュニティ大賞	緑と水と生命～みんなで共生する環境を～	宮崎県 北諸県郡 三股町	社会福祉法人 ゆりかご会認定こども園 みどり保育園

③ 緑化技術コンクール

気候変動への適応、2030年ネイチャーポジティブの実現、官民連携による居心地の良い空間づくりやにぎわい創出等の実現に資する緑化技術について、積極的に取り組み、優れた成果をあげている民間企業、公共団体、個人等を顕彰している。令和6年度は、公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会と連携し2027年に横浜で行われる国際園芸博覧会（GREEN×EXPO 2027）に向けて海外に発信すべき緑化技術等をテーマとする特定テーマ部門を実施した。

第23回「緑化技術コンクール」は、審査委員会（9月18日（水）開催。委員長：山田 宏之（大阪公立大学農学部教授）を経て、以下の9件が受賞した。

第23回緑化技術コンクール 受賞者一覧

●国土交通大臣賞

受賞部門	受賞作品	所在地	受賞者
緑化施設部門	本の森ちゅうおう（中央区立京橋図書館・中央区立郷土資料館）	東京都 中央区	株式会社類設計室/松井建設株式会社/坪井工業株式会社/株式会社クリスタルジャパン
緑化施設部門	世田谷区立保健医療福祉総合プラザ	東京都 世田谷区	株式会社佐藤総合計画/株式会社ランドスケープ・プラス

●環境大臣賞

受賞部門	受賞作品	所在地	受賞者
緑化施設部門	那覇市本庁舎	沖縄県 那覇市	株式会社国建/株式会社環境設計国建

受賞部門	受賞作品	所在地	受賞者
緑化施設部門	ロハス工学センター棟 ロハスの森「ホール」	福島県 郡山市	日本大学工学部浦部智義研究室+ロハス工学センター/株式会社はりゅうウッドスタジオ/株式会社蔭山工務店/株式会社日比谷アメニス

●日本経済新聞社賞

受賞部門	受賞作品	所在地	受賞者
緑化施設部門	YANMAR TOKYO	東京都 中央区	ヤンマーコーポレーション株式会社/株式会社日建設計/株式会社竹中工務店/株式会社朝日興産/株式会社プラネット/株式会社稲治造園工務所
緑化施設部門	サントリー天然水 北アルプス信濃の森工場	長野県 大町市	サントリープロダクツ株式会社天然水北アルプス信濃の森工場/株式会社竹中工務店/株式会社愛植物設計事務所

●都市緑化機構会長賞

受賞部門	受賞作品	所在地	受賞者
緑化施設部門	大阪ガス実験集合住宅 NEXT21	大阪府 大阪市	大阪ガス株式会社/株式会社集工舎建築都市デザイン研究所
特定テーマ部門	最適雨水貯留量 シミュレーションツール		株式会社日比谷アメニス

●2027年国際園芸博覧会協会特別賞

受賞部門	受賞作品	所在地	受賞者
特定テーマ部門	防草シート付不織布ポット 「ウエキング」		株式会社環緑

④ 都市の緑三賞表彰式の開催

「緑の都市賞」、「緑の環境プラン大賞」、「緑化技術コンクール」の受賞団体を表彰するため、佳子内親王殿下のご臨席のもと、「第7回みどりの『わ』交流のつどい ー都市の緑三賞表彰式ー」を開催した。

主 催 公益財団法人都市緑化機構、一般財団法人第一生命財団
開 催 日 令和6年12月16日(月)
会 場 明治記念館(東京都港区)

式典概要 第一部 表彰式

主催者挨拶

佳子内親王殿下のおことば

来賓祝辞

賞状授与

(1) 第44回緑の都市賞

(2) 第35回緑の環境プラン大賞

(3) 第23回緑化技術コンクール

受賞者代表挨拶

閉会

第二部 「都市の緑3表彰」受賞作品ご紹介

第三部 交流会

参加者数 約160名

2) 全国花のまちづくりコンクール

花のまちづくりを普及させるため、花のまちづくりコンクール推進協議会（公益財団法人日本花の会、公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会、一般財団法人日本花普及センター、公益財団法人都市緑化機構により構成）の主催により、花によるまちづくりの優れた取り組みを顕彰している。

第34回「全国花のまちづくりコンクール」は、審査会（第一次審査会：7月30日（火）、第二次審査会：9月13日（金）開催。委員長：齋藤 京子 一般社団法人家の光協会理事）を経て、以下の56件が受賞した（なお、第31回「全国花のまちづくりコンクール」より、入賞回数が一定数に達した方々の継続的な活動を特別に称えることを目的とし、新たに「特別賞」を設けている）。

第34回「全国花のまちづくりコンクール」 受賞者一覧

●大賞 国土交通大臣賞

受賞部門	受賞者	所在地
団体	南大塚都電沿線協議会	東京都豊島区
個人	佐野 誉志照・恵美子	静岡県浜松市

●大賞 農林水産大臣賞

受賞部門	受賞者	所在地
団体	三島市東大場花の会	静岡県三島市
団体	特定非営利活動法人田原菜の花エコネットワーク	愛知県田原市

●大賞 文部科学大臣賞

受賞部門	受賞者	所在地
学校	五霞町立五霞中学校	茨城県五霞町

●優秀賞

受賞部門	受賞者	所在地
市町村部門	恵庭市、株式会社ガーデンシティ恵庭	北海道恵庭市
学校	喜多方市立上三宮小学校	福島県喜多方市
団体	大濠公園ガーデニングクラブ	福岡県福岡市
個人	房谷 弘之	兵庫県姫路市
個人	松浦 さつき・千春	兵庫県たつの市
企業	株式会社ベースワン	滋賀県彦根市
企業	NEC ソリューションイノベータ株式会社	東京都江東区

- ・奨励賞 [10件]
- ・入選 [26件]
- ・特別賞 [8件]

3) ユニバーサルデザイン施設等普及事業

都市公園等を誰もが支障なく共に利用でき、利用者や地域住民への潤いと安らぎを与えることを目的として、一般財団法人日本宝くじ協会の協力により、優れた機能を有するユニバーサルデザイン施設等の地方公共団体等への提供を行っている。

令和6年度は、令和4年度に配布した9製品に対し、36件のアンケートを回収し（回収率92.3%）、フィードバックを行った。

また以下34団体に対し、コミュニティプランター、テーブル・ベンチセット、水飲み場、インクルーシブブランコ等のユニバーサルデザイン施設計49基を提供した。

都道府県：群馬県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、兵庫県

政令市：札幌市、仙台市、千葉市、川崎市、新潟市、浜松市、京都市、堺市、神戸市、北九州市

その他市町村：恵庭市、八戸市、横手市、郡山市、足利市、前橋市、戸田市、射水市、小布施町、袋井市、湖西市、焼津市、一宮市、榎原市、東広島市、三原市、福山市

公園関係団体：一般財団法人公園財団

4) まちニワ創出活動助成

事業の実施に向け、助成内容、協賛企業との連携等について企画、検討を行った。

5) その他の助成

全国各地で社会問題となっている人口減少・高齢化、中心市街地の空洞化等により活力の衰退が深刻化する地域を対象に、花・みどりの提供により景観や生活

環境の改善や賑わいの創出など人々の癒しや活力の源となる空間の創出を目的とした、地方公共団体へ花苗と花壇用コンテナ等の提供を実施した。

令和6年度は、13の自治体の20か所の施設に対して、計181基のプランターを花苗・土壌と共に提供した。

北海道 中札内村
山形県 長井市
埼玉県 鴻巣市、本庄市
東京都 江戸川区
神奈川県 川崎市
富山県 射水市
長野県 長野市
静岡県 焼津市
愛知県 瀬戸市
滋賀県 草津市
高知県 四万十町
熊本県 熊本市

(3) 都市緑化に関する調査、研究、技術の開発及びこれらの成果の普及

都市環境の改善やみどり豊かな都市の実現を図るため、令和6年度は以下について、共同調査研究、受託調査研究等の方法により、以下に係る調査、研究等を行った。

- 1) 都市緑化による環境の創造、改善に関する調査、研究及び技術開発
- 2) 都市における新たな緑化空間の創出に関する調査、研究及び技術開発
- 3) 都市における緑化を推進するための植栽植物の育成、管理に関する調査、研究及び技術開発
- 4) 国・地方公共団体による都市緑化、企業による緑地創出、市民・企業参加の花と緑のまちづくり等の推進に関する調査及び研究共同研究

① 共同調査研究

ア 公園緑地における防災技術に関する調査研究

都市公園の防災機能の向上に関する調査研究について、令和6年度は能登半島地震都市公園指定管理者ヒアリング調査として、石川県下の七尾市、能登町ほか被災都市公園における災害被災地や最近の防災公園整備・運営等の実態調査やヒアリングを行った（令和6年8月20日（火）～21日（水））。

また、能登半島地震都市公園指定管理者ヒアリングで得られた地震発災後における都市公園の利用実態に関する証言に関して、定量的な裏付け情報を解析する手法として、スマートフォンの位置情報を利用した人流解析技術

「KDDI Location Analyzer」を用いた検討を行った（令和6年10月～令和7年2月）ほか、能登半島地震に関する特別講演を下記のとおり実施した。

日 時 令和6年6月17日（月）

会 場 公益財団法人 都市緑化機構 会議室

特別講演 令和6年能登半島地震における地震火災と都市計画への示唆

東京大学先端科学技術センター 教授 廣井 悠

イ ユニバーサルデザインに関する調査研究

障がい当事者とともに都市公園・交通機関を利用しながらアクセシビリティの研究、障がいの有無に関わらず公園の魅力を満喫する方法を研究する事業（公園を歩こう）の実施、従来のユニバーサルデザインの概念を更に進化させ、「誰一人取り残さない社会」「インクルーシブな社会」の実現に貢献する公園づくりをテーマに情報交換、視察等を行った。

ウ 都市環境の保全、育成、創造に関する調査研究

これからの時代におけるみどりによる都市環境の保全・育成及び魅力ある都市環境の創造を目的に、みどりの効果や活用方法、維持管理手法、発信方法等についての検討及び取りまとめ、また、グリーンインフラの普及に向けた実験及び検討等の調査研究及び技術開発について、大学、事業者等と共同で実施した。

エ 環境緑化に関する調査研究

緑化技術開発として「樹木の耐風性試験」、「新野生種クマノザクラの都市緑化植物としての適性の検討」、「雨水貯留流出遅延量向上のための改修手法の検討」、「植栽基盤の（仮）基準値や樹木生理に基づく緑地管理研究」、「緑のダム・灌水検討プロジェクト」、「屋上・壁面緑化防水リニューアルプロジェクト」を実施した。

また、自治体が主催している市民勉強会に協力し、樹木の更新に関する方針の観点から勉強会を実施したほか、環境緑化技術に関する理解を深めるためウェブセミナーを下記の通り開催したほか、環境緑化技術共同研究会30周年記念企画として記念講演会を実施した。

第12回シンボルロード管理運営を考える会議（市民勉強会）

日 時 令和7年1月26日（日）10:00～12:00

主 催 朝霞市都市建設部

講 演 「シンボルロードの魅力と課題から緑地管理を考える」

環境緑化技術共同研究会 サステイナブルグリーン分科会 伊東 伴尾

現地視察（講師担当）

環境緑化技術共同研究会 伊東 伴尾、豊田 幸夫、直木 哲、藤田 茂

みんなで考えよう都市の緑セミナー第8回

市緑化による吸収源活動への取り組みの紹介

日 時 令和6年4月24日（水）16:15～18:15

開催方法 ウェブミーティング方式

講 師 公益財団法人都市緑化機構 今井 一隆

みんなで考えよう都市の緑セミナー第9回

知っておきたい屋上緑化の基礎知識～防水編～

日 時 令和6年7月23日（水）16:15～18:15

開催方法 ウェブミーティング方式

講 師 田島ルーフィング株式会社部長 綿引 友彦

みんなで考えよう都市の緑セミナー第10回

廃棄物の緑化への有効利用技術と事業化の実例

日 時 令和6年10月21日（月）16:15～18:15

開催方法 ウェブミーティング方式

講 師 レイ・ソーラデザイン株式会社代表取締役 大森 僚次

みんなで考えよう都市の緑セミナー第11回

グリーンインフラとプラスチック資材について

日 時 令和7年1月29日（水）16:15～18:15

開催方法 ウェブミーティング方式

講 師 株式会社キタイ製作所 顧問 松山 眞三

環境緑化技術共同研究会設立30周年記念講演会

日 時 令和6年9月10日（火）14:30～16:40

場 所 東京大学工学部11号館 HASEKO-KUMA HALL

記念講演 「グリーントランスフォーメーションとこれからの都市緑化」

講 師 公益財団法人都市緑化機構 理事長 横張 真

オ グランドカバー・ガーデニングに関する調査研究

身近な緑の保全育成や魅力ある都市環境の創造に寄与するため、環境にやさしいグランドカバー緑化及び関連資材を含めた技術開発・調査・研究を通じてガーデニングとランドスケープの結合を図りつつ、植物材料・園芸資材を中心にガーデニングを現代の生活・都市空間に広く普及、発展を目的とし活動してきたグランドカバー・ガーデニング共同研究会（平成8年度に発足したグランドカバー共同研究会、平成9年度に発足したガーデ

ニング研究会を統合し、平成 22 年度よりグランドカバー・ガーデニング共同研究会として活動) について、令和 6 年度をもって一定の成果を踏まえ活動に区切りをつけることとし、これまでの研究成果の取りまとめを行った。

② 受託調査研究

都市緑化に関する調査研究を幅広く進めるため、国及び地方公共団体等からの委託を受けて、以下の調査を実施した。

- ・都市における空閑地等の緑地機能の発揮による都市空間の魅力向上に関する検討調査（国土交通省）
※空閑地等を地域の資源として捉え、緑地機能を発揮させつつ、暫定的に活用することにより、都市空間の魅力向上を図ることを目指し、①都市部における空閑地等の活用の可能性、②空閑地等の活用を持続的なものとするための課題の整理や支援の在り方について検討を行った。
- ・庭園等の魅力発信および管理技術の普及に関する検討調査（国土交通省）
※海外日本庭園再生プロジェクト（国土交通省、平成 29 年～令和 3 年）の取組を踏まえ、①庭園の修復等を通じた海外の日本庭園に関わる団体等との連携強化、②2027 年国際園芸博覧会に向けた日本庭園に関する造園技術の普及・啓発のあり方についての検討、③庭園等を通じた地域振興に関する取組の普及及びネットワーク強化のための検討についての検討を行った。
- ・2027 年国際園芸博覧会政府出展事業（屋外展示等に係る業務）（国土交通省）
※2027 年国際園芸博覧会政府出展基本計画を踏まえ、屋外展示に係る基本設計及び管理運営の諸元整理等を行うため、屋外展示に係る内容の検討、調整会議及び懇談会の運営補助を実施した。
- ・2027 年国際園芸博覧会政府出展業務（設計準備）（TOPPAN 株式会社）
※2027 年国際園芸博覧会政府出展実施設計の準備に向け、屋外展示に係る内容の検討、調整会議及び懇談会の運営補助を実施した。
- ・都市緑地の機能維持増進事業など新たな都市緑地保全施策の活用推進に向けた検討調査業務（国土交通省）
※令和 6 年度に創設された「機能維持増進事業」の推進に当たり、考え方の整理や実施方法等の検討を行うとともに、地域住民等による持続的な管理に向けた支援方策の検討を行った。あわせて、国の基本方針の検討に必要なデータの収集を行った。
- ・都市における緑地保全・緑化関連技術の普及方策等検討調査業務（国土交通省）
※国内外において、脱炭素社会の実現や、ネイチャーポジティブの実現に向けた取組が求められる中で、都市部においても、これらの達成に資する緑地の量・質の確保を図

る取組の一層の推進が求められている。本業務においては、緑地の量・質の確保に資する技術に関し、2027年国際園芸博覧会を見据えた普及方策の検討を行った。

- ・都市緑化等による温室効果ガス吸収源対策の推進等に関する調査（国土交通省）
※パリ協定に基づく枠組のもとで、条約事務局に提出するための都市緑化等による温室効果ガスの吸収量の算出に係るデータを整理するとともに、吸収量算定の精度向上に係る検討等を行った。
- ・令和6年度優良緑地確保計画認定制度に係る審査支援業務（国土交通省）
※改正都市緑地法に基づく優良緑地確保計画の認定制度について、緑地確保事業者から申請があった際に、申請内容の評価基準への適合性についての調査を含む審査の支援を行うとともに、認定にあたり適切かつ公正な審査を行うための審査委員会の開催補助等を行った。
- ・全国都市緑化フェア in 京都丹波基本計画策定業務の作業（その2）（一般社団法人ランドスケープコンサルタンツ協会）
※令和8年度に開催を予定している「全国都市緑化フェア in 京都丹波」について、基本理念・基本方針、事業内容、施策展開、会場及び会期、開催規模及び開催の形態等条件整理、会場計画、準備体制及び開催体制の整理、事業スケジュール、概略事業費等の検討・整理を行い、基本構想案の策定支援を行った。

なお、都市緑化に関する調査、研究、技術開発については、日本国内だけでなく海外も対象に実施しており、特に2027年に横浜市において開催が予定されている国際園芸博覧会を踏まえ、日本の緑化技術等の情報発信に関する調査、研究を継続して実施した。

（4）都市緑化に関する評価

1）社会・環境貢献緑地評価システム（SEGES）による評価

緑をまもり育てる活動を通じて社会や環境に貢献している企業の緑地を対象に、特に優れた取組みを評価・認定する事業を実施した。

① そだてる緑部門

民間が所有する土地で緑地の保全・創出活動に取り組んでいる企業等の取組みを認定する「そだてる緑」部門について、新規審査1件（表中◎）、更新審査を7件、維持審査9件を実施した（令和6年度末現在の認定数は37件。認定後は更新審査（3年ごと、現地審査）と維持審査（毎年、書類審査）を実施）。

令和6年度末現在の「緑の殿堂」認定数は10件（表中◆印）となった（認定後は更新審査（5年ごと、現地審査）を実施）。

■そだてる緑部門 令和6年度認定緑地一覧

認定企業・緑地名	所在地	認定年度
◆三井住友海上火災保険株式会社 駿河台の緑地	東京都千代田区	2005
◆トヨタ自動車株式会社 トヨタの森	愛知県豊田市	2005
◆ソニーグローバルマニュファクチャリング&オペレーションズ株式会社 幸田サイト	愛知県額田郡 幸田町	2005
◆花王株式会社 和歌山工場	和歌山県和歌山市	2005
◆富士通株式会社 沼津工場	静岡県沼津市	2006
◆ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社 大分テクノロジーセンター 国東サテライト	大分県国東市	2007
株式会社グリーン・ワイズ 本社事業所	東京都多摩市	2008
◆サンデン株式会社 サンデンフォレスト	群馬県前橋市	2008
◆株式会社西武リアルティソリューションズ 「飯能・西武の森」	埼玉県飯能市	2008
◆学校法人立正学園大学 立正大学熊谷キャンパス	埼玉県熊谷市	2008
出光興産株式会社 北海道製油所	北海道苫小牧市	2010
◆出光興産株式会社 愛知製油所	愛知県知多市	2010
日産自動車株式会社 日産テクニカルセンター／日産先進技術開発センター	神奈川県厚木市	2011
ダイキン工業株式会社 ダイキンアレス青谷	鳥取県鳥取市	2011
株式会社ディスコ 広島事業所 桑畑工場	広島県呉市	2012
株式会社晴海コーポレーション 晴海アイランドトリトンスクエア	東京都中央区	2014
YKK 株式会社 黒部事業所 YKK センターパーク	富山県黒部市	2016
株式会社ディスコ 長野事業所 茅野工場	長野県茅野市	2017
日本電信電話株式会社 NTT 武蔵野研究開発センタ	東京都武蔵野市	2017
旭化成株式会社／旭化成ホームズ株式会社 あさひ・いのちの森	静岡県富士市	2017
日本電信電話株式会社 NTT 横須賀研究開発センタ	神奈川県横須賀市	2018
三菱電機株式会社 受配電システム製作所	香川県丸亀市	2018
医療法人社団中郷会 新柏クリニックと周辺街区（めぐりの庭、糖尿病みらい）	千葉県柏市	2019
佐川急便株式会社 佐川急便「高尾100年の森」	東京都八王子市	2019
首都高速道路株式会社 おおはしりの杜（大橋換気所）	東京都目黒区	2020
ローム株式会社 「森の中の本社工場」	京都府京都市	2020
独立行政法人都市再生機構 UR 賃貸住宅 常盤平団地	千葉県松戸市	2020
KMバイオロジクス株式会社 菊池研究所 明治ホールディングス株式会社 明治グループ自然保全区 くまもと こもれびの森	熊本県菊池市	2021

認定企業・緑地名	所在地	認定年度
東レ株式会社 東海工場	愛知県東海市	2021
JESCO ホールディングス株式会社 JESCO 那智勝浦の保安林	和歌山県東牟婁郡 那智勝浦町	2022
株式会社ノーザンホースパーク ノーザンホースパーク	北海道苫小牧市	2022
戸田建設株式会社 筑波技術研究所	茨城県つくば市	2022
有限会社ノーザンレーシング 植苗社有林	北海道苫小牧市	2022
シチズン時計株式会社 本社東京事業所	東京都西東京市	2022
IDEC 株式会社 IDEC 本社/技術研究センター いずみの森	大阪府大阪市	2022
ダイキン工業株式会社 淀川製作所	大阪府摂津市	2022
北海道石油共同備蓄株式会社 北海道事業所	北海道苫小牧市	2023
◎住友商事株式会社 KANDA SQUARE	東京都千代田区	2024

② つくる緑部門

都市開発・建築行為の計画に関し、良好な緑空間を創出し、社会・環境に貢献する緑の計画であることを認定する「つくる緑」部門について、令和6年度は以下の1件を新たに認定した（令和6年度末の認定件数は25件）。

■つくる緑部門 令和6年度新規認定緑地一覧

認定緑地名	事業者名	所在地
法円坂北特定街区（大阪・法円坂ホテル<現パティナーナ大阪>、史跡指定地整備）	NTT 都市開発株式会社ほか	大阪府大阪市

③ 都市のオアシス部門

公開性・安全性・環境への配慮等の基準を満たす民間事業者所有の緑地を認定する「都市のオアシス」部門について、令和6年度は以下の3件を新たに認定した（令和6年度末の認定数は48件、認定後は更新審査（3年ごと、現地審査）を実施）。

■都市のオアシス部門 令和6年度新規認定緑地一覧

認定緑地名	事業者名	所在地
なんばセントラルプラザリバーガーデン	大和リース株式会社	大阪府大阪市
Research Gate -TONOMACHI-	大和ハウス工業株式会社	神奈川県川崎市
温故創新の森 NOVAREA	清水建設株式会社	東京都江東区

2) 都市緑化技術審査証明事業による評価

都市緑化技術の審査・証明は、民間企業等において開発された新技術の有効

性を審査、証明し、国や地方公共団体に情報提供することにより、新技術の活用を促進し、都市の緑化に係る公共工事の質の向上や効率的な運用等に寄与することを目的としている。

令和6年度は、更新依頼のあった高分子系発酵下水汚泥コンポスト「JCNエココンポスト」について証明を行い、その周知・広報等を実施した。

(5) 都市緑化に関する人材の育成、情報の収集及び発信、国際協力等

1) 調査研究活動への支援

大学院生等の若手研究者による都市緑化に関する調査、研究及び技術開発を奨励するため、優れた研究テーマに対して助成を行うことにより、次世代を担う若手研究者の育成を図っている。

令和6年度は、以下に所属している5名の若手研究者の調査研究活動に対して、総額50万円の支援を行った。なお、本事業の研究成果は機関誌「都市緑化技術」において発表を行った。

所属研究機関	氏名	研究テーマ
東京大学大学院	祖父江 侑紀	白黒航空写真を利用した都市域における緑地の定量的把握手法の開発
兵庫県立大学	大前 亜喜	地方自治体主導の緑化認定・表彰制度の意義と課題に関する研究－緑化条例・評価認証制度との相補関係の分析及び制度の地域性に着目して－
京都大学大学院	佐藤 亮太	京都市における都市緑地のCO2吸収効果に関する研究－渦相関法によるCO2フラックスの分析－
香川大学大学院	中原 康成	香川県下に設置された雨庭における雨水の浸透・貯留の実測評価
長崎大学大学院	東 叶達	室内緑化が図書館内の利用者の心理反応に及ぼす影響に関する実証研究

2) 都市緑化技術研修会の開催

都市のみどりに関わる実務者や技術者の能力向上、都市緑化技術に関する情報の提供及び技術の普及等を目的として、以下のとおり都市緑化技術研修会を開催した。

会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都渋谷区）
日 時 令和7年1月23日（木）～24日（金）10:00～16:45
参 加 者 63人
テ ー マ 「民間との連携でつなぐみどり」
講 演 都市緑地法改正を通じた「まちづくりGX」の推進
国土交通省都市局公園緑地・景観課 課長補佐 酒井 翔平
都立公園における民間連携について
東京都建設局 公園緑地部計画 課長 坂下 智宏
ネイチャーポジティブに向かう世界の潮流と都市の緑
MS&AD インシュアランスグループホールディングスサステナビリティ推進部
TNFD 専任 SVP 原口真
つながりを育むための都市緑地への取組と評価の視点
千葉大学大学院 園芸学研究院 教授 柳井 重人
「MUGF PARK における、まちなかの樹木の保全と活用の両立を図る取り組み」
株式会社三菱地所設計 都市環境計画部
ユニットリーダー 津久井 敦士
「市谷の杜」の都市における新しい森づくり
大日本印刷株式会社 サステナビリティ推進委員会
事務局 局長 鈴木 由香
事例視察 SETAGAYA Qs-GARDEN（第一生命保険株式会社）
第一生命保険株式会社 不動産部ファシリティマネジメント課 古舘 聖子

3) 機関誌の発行

優れた緑化の取り組み事例や都市緑化技術等に関する最新情報の発信及び調査研究成果の発表等を内容とする機関誌「都市緑化技術」を発行している。

令和5年度は以下のとおり発行し、全国の造園・環境系の学部等を有する大学、図書館などの多くの閲覧が見込まれる機関・施設等に配布した。

- No. 126 「大規模商業空間のみどり」
- No. 127 「緑を支える緑化技術」
- No. 128 「ネイチャーポジティブ実現にむけたまちづくり」
- No. 129 「緑の街をつくる世界の潮流」

発行部数 （各号） 2,000部
配布箇所数（各号） 1,000箇所

4) 植樹保険制度の活用支援

植樹保険の団体保険契約者として、公共植栽工事において枯損した樹木等の植替えが円滑かつ速やかに行われるよう、植栽工事請負者に対する制度の活用支援を行っている。令和6年度における植樹保険の付保件数は、195件であった。

2 緑地保全・緑化支援事業

令和6年11月8日に施行された都市緑地法等の一部を改正する法律（令和6年法律第40号。以下「改正緑地法等」という。）において、積極的・機動的な緑地保全に関する制度の運用に資するため、地方公共団体に代わって緑地の買入れや機能維持増進のための管理等を実施する「都市緑化支援機構」（以下「支援機構」という。）制度が創設された。

令和6年度は国において支援機構の指定に伴う公募について手続きが実施され、令和7年3月に当機構が指定された。支援機構に指定されたことに伴い、法人内における業務体制の構築、事業実施に係る準備を進めた。

（1）特定緑地・特定土地保全業務

事業実施に係る準備として、特定緑地・特定土地保全業務に関する規程の整備等を実施した。

（2）優良緑地確保支援資金貸付業務

事業実施に係る準備として、優良緑地の整備等に要する費用の貸付けに関する規程の整備、貸付けを実施するにあたっての審査体制の準備等を行った。

（3）調査研究等

緑地の保全及び緑化の推進に関する情報収集を行った。

3 その他

（1）訪問学習等への対応

学生等の訪問学習として、令和6年12月2日（月）に、長崎県立西陵高等学校の生徒7名の受け入れを行った。当機構の事業紹介や都市の緑の機能等を紹介し、都市緑化への理解促進に努めた。

（2）都市緑化の活動を推進するための募金活動

令和6年度は、ホームページ等でのPRにより寄付の拡大に努めた。また、10月に実施した都市緑化キャンペーンにおいて募金活動等を実施した。

また、飲料を取り扱う事業者との連携により寄附型自動販売機の設置、運用に関しての取組みを実施した。

（3）他団体等への協力

都市緑化基金等連絡協議会（会員数43団体）の活動に事務局として協力した。事務局として理事会、総会の運営、情報誌の発行、研修会（全国都市緑化フェアの視察）を実施した。

4 会議の開催

次のとおり理事会、評議員会を開催した。

(1) 理事会

- ・令和6年5月28日(火) 第36回通常理事会
議案 令和5年度事業報告及び収支決算について
定時評議員会の開催について
規程の改正について
報告事項 資産の運用状況の報告について
2023年ドーハ国際園芸博覧会閉幕について
- ・令和6年9月20日(金) 第37回臨時理事会
議案 評議員全員の書面同意による決議の省略についての承認について
規程の一部改正について
報告事項 会長、理事長及び専務理事の職務執行状況報告について
資産の運用状況について
- ・令和6年12月5日(木) 決議の省略による理事会
議案 都市緑化支援機構の指定申請について
公益目的事業に係る変更認定申請について
- ・令和7年3月6日(木) 第38回通常理事会
議案 令和6年度事業計画及び収支予算の変更について
令和7年度事業計画及び収支予算について
令和7年度資産運用方針について
都市緑化基金(特定資産)の運用益の処分について
役員等賠償責任保険契約の更新について
規程の制定及び一部改正について
特定費用準備資金の積立について
報告事項 会長、理事長及び専務理事の職務執行状況報告について
第7回「みどりの『わ』交流のつどい」—都市の緑三賞表彰式—について
全国都市緑化フェアについて
令和6年度都市緑化技術研修会について

(2) 評議員会

- ・令和6年6月17日(月) 第13回定時評議員会
議案 令和5年度収支決算について
評議員の選任について
理事の選任について
報告事項 令和5年度事業報告について
令和6年度事業計画及び収支予算について
資産の運用について
第6回「みどりの『わ』交流のつどい」—都市の緑三賞表彰式—について

全国都市緑化フェアについて
2023年ドーハ国際園芸博覧会日本国出展について

- ・令和6年10月21日(月) 第14回臨時評議員会(決議の省略による評議員会)
議案 公益財団法人都市緑化機構定款の変更について

5 評議員、理事、監事の異動

(1) 評議員

令和6年6月17日付け
就任 和田 新也

(2) 理事

令和6年6月17日付け
就任 木村 正和

※令和6年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書は、「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。